

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況(令和8年4月)

<野菜類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	価格 円/kg
ねぎ	1,024	116.4	125.7	260	61.8	70.4	3,528	250
レタス	2,951	87.7	86.6	155	95.9	95.4	4,494	157
はくさい	5,610	106.2	100.9	67	69.9	81.9	5,782	68
ピーマン	1,086	85.6	84.4	627	95.6	103.0	2,189	587

- ※出典:①入荷量・価格は東京都中央卸売市場月報から ②平年比は都中央実績の直近5年間の平均値から算出(果実類・花きも同じ)
- ・ねぎは、千葉、茨城中心の入荷。適度な降雨による乾燥の解消と気温の上昇で生育は回復し、前年、平年を上回る潤沢な入荷となった。価格は気温の上昇に伴い需要が減退し、春ねぎの残量も多く夏ねぎへの移行が進まず、大幅な高値で推移した前年を4割近く下回り、平年を3割程度下回った。
  - ・レタスは本県中心の入荷。低温・乾燥の影響により遅延傾向であった生育は適度な降雨と気温の上昇で回復しつつあったものの、前年、平年を1割以上下回る入荷となった。価格は前年、平年をやや下回った。
  - ・はくさいは、気温の上昇と降雨により生育はやや前進傾向で、少なかった前年をやや上回り、ほぼ平年並みの入荷。価格は月間を通して大きな動きはなく、高値で推移した前年を3割以上下回り、平年を2割程度下回った。
  - ・ピーマンは、本県中心の入荷。一部で曇雨天の影響による花落ちが散見されているほか、収穫遅れが見られ、入荷量は前年、平年を1割以上下回った。価格は高値で推移した前年をやや下回り、平年をやや上回った。

<果実類>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	価格 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	価格 円/kg
メロン類	369	103.0	97.7	737	97.0	104.8	849	902

- ・メロン類は、熊本、茨城を中心に入荷。熊本県産は高齢化により減産。3月下旬～4月上旬の降雨により一部で裂果やネットの乱れがあったものの、前年、平年並みの入荷となった。価格は、4月上旬は小玉傾向により大玉の引き合いが強く、高値となった前年、平年並みとなった。

<花き>

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 千本	前年比 %	平年比 %	単価 円/本	前年比 %	平年比 %	入荷量 千本	単価 円/kg
カーネーション類	277	88.7	100.6	58	101.6	91.9	8,034	57
バラ	100	79.4	86.2	106	111.7	116.6	3,419	97

- ・カーネーションは、輸出品が少なく単価安定したものの、年内出荷量の少なかった産地において気温の上昇とともに数量が増加し、相場安の展開。本県産の入荷量は前年より1割減少、平年並みとなった。価格は、ほぼ前年並み、平年を1割下回った。
- ・バラは、高冷産地の出荷が開始。気温が高く、例年よりも出荷ピークが1週間程度早まった。本県産の入荷量は、前年より1割程度減少し、平年並みとなった。価格は、前年並み、平年より1割程度安値となった。